

最強タックル KYOKUEI LIGHT AJI & LIGHT GAME IC 極鋭ライトアジ & ライトゲームIC

極鋭ライトアジ

●エキスパートにこそ贈りたいライトアジのハイエンドロッド。8:2の先調子設計で緻密なコントロール性、小さなアタリももれなくキャッチする軽量高感度設計、ストレスゼロのフィット感とパーミング性能を追求したゼロシート、感度と強度に優れたSMTなど、ライトアジに別領域を広げる一本に仕上がっている。

▲ゼロシートはフィット感とパーミング性能を追求
▼穂先は高感度SMT搭載

アイテム	自重 (g)	全長 (m)	継数 (本)	仕舞 (cm)	先径/元径 (mm)	オモリ 負荷(号)	適合クランプ サイズ	カーボン 有率(%)	メーカー希望 本体価格(円)
165テク	84	1.65	2	128	1.0/9.8	20-60	SSS	99	55,500



▲富岡沖は入れ食い。中アジのパーフェクトも披露
▶驚き、30センチ近いキジハタもきた



快適アジビシ仕掛け/速攻

●トラブルレスのハリス、スペクトロセンサー、仕掛けのヨレを防ぎアジの上アゴに掛かりやすいヒネリなしのムツバリ(速攻はヒネリなしの半ネムリセイゴ)を採用した最先端のライトアジ仕掛け。各2セット入り、ハリサイズ9~11号、ハリス1~3号、2~3本バリ仕様で、それぞれ12アイテムを用意。メーカー希望本体価格400~520円。



▲しっかりとアジの上アゴに貫通。これならバレない

楽しく釣って釣果もアップ 最新タックル&仕掛けに注目!

★多点掛けでも胴のクッション性でしっかり引きをいなし。曲がりも実に美しい

KYOKUEI LIGHT AJI + LIGHT GAME IC 150L-DH



★朝のうちは25センチを超える良型が釣れ続いた

高槻慧 名手が魅せるライトアジ攻略

THE FRONT OF OFF SHORE FISHING vol.83

ライトアジ最前線

at 東京湾奥磯子出船 → ●東京湾のメインターゲットといえばライトアジ。初心者からベテランまで幅広く楽しめる釣り物として不動の人気を保っている。今回は名手高槻慧さんが最新、最強のタックル&仕掛けを持参して、一歩先をいくテクニックを披露しつつ、より快適に釣るライトアジを紹介する。



▶コマセを5回ほどに分けてまくライン引きで対応

▼後半は高槻さんの快進撃

▶極鋭ライトアジとライトゲームICの最強タックル

▲まずは快適アジビシ仕掛け3本バリでスタート。ビシは40号だ



LIGHT GAME IC 150L-DH

ライトゲームIC 150L-DH

●カウンター付き軽量小型両軸リール。ダイワテクノロジーが誇る設計思想「ハイバードライブデザイン」搭載で、滑らかで力強い巻き上げを実現。ライトアジはもちろんイサキ、タチウオ、ライトウイリーからヒラメに至るまであらゆるライトゲームに対応。コスバに優れた価格帯も特徴だ。

▶カウンターにはデブスアーム搭載

●ギア比6.3、自重215g、糸巻き量PE2号・200m、3号130m、メーカー希望本体価格33,000円。ほかに150-DH、150、150L、200、200Lも用意



IPV-REX

●ダイワのプロバイザーシリーズが進化してリニューアル登場。マッスルボディ、シールドロック機構などの最新機能搭載。16~28リットル、断熱はスチロールから6面真空など全12アイテムを用意。



▲収納力や保冷力だけでなく数かずの最新機能が詰め込まれている

中にスッポリ仕掛けが収まるというわけだ。
2投目に待望のアタリ。シャープな引きを極鋭ライトアジが押さえ込み、取り込んだのは25センチ超えの良型だった。
「ライン引きにも様ざまなバリエーションがあるんですけど、今日はソフトなコマセワークがいいみたいですね」と高槻さん。極鋭ライトアジは張りのある調子を持ち、コントロール性に富んでいるので思いどおりの釣り方ができるのも特徴だ。
「ライトゲームICの滑らかな巻き心地もライトアジにはピッタリです。汎用性にも富んでいるし、コスバも高いのでおすすめのリールです」
良型ぞろいのせい
か、多点掛けより確実に1尾ずつ釣った
高槻さんは、着実にアタリを取っていく
釣りで徐々に数をのばしていく。
時間がたつにつれ

動画連動!



★当日の動画はダイワ「船最前線」よりご覧になれます。